

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		泉ヶ丘市民センター維持管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連			
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	市民部	課長名	緒田 恵子		
	施策	24	行財政改革の推進		所属課	市民課	担当者名	木村 嘉廣		
	基本事業	86	市民サービスの向上		所属班		(内線)			
予算科目		会計 1	款 2	項 1	目 19	事業連番 11103	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	—
								コスト削減優先度評価結果	—	
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (～ 年度)		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										
【事業の内容】 泉ヶ丘市民センターの維持管理及び運営管理を行なうとともに市民課本課で行なう業務とその他部署の業務等を行なう。 【業務の流れ】 ①賃貸借契約(コピー機、清掃費、)②修繕費、備品購入費の支払い 【主な予算費目】 ①報酬②需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費)③役員費④委託料⑤使用料及び賃借料										

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・泉ヶ丘市民センターの維持管理及び運営管理を適正行なった。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・20年度と同じ。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・施設利用者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 施設利用者数 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・施設を安心、安全に利用できる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 施設利用者数 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・満足度の高いサービスを受けられる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 施設の瑕疵による事故件数 件数 → イ ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 窓口サービス等の苦情等件数 件数 → イ 窓口アンケートの総合評価点数 点数

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 22 年度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円			16,479	14,988	16,813	16,813	
	(A) 事業費計	千円	0	0	16,479	14,988	16,813	16,813	16,813	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人			4	4	4	4	
延べ業務時間		時間			8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
	(B)人件費計	千円	0	0	31,840	31,840	31,840	31,840	31,840	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	48,319	46,828	48,653	48,653	48,653	
活動指標	人			29000	30935	31000	31000	31000		
対象指標	人			29000	30935	31000	31000	31000		
成果指標	件数				0	0	0	0		
上位成果指標	件数 点数				2 4.21	1 4.4	1 4.5	1 4.5		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
・住民の健康、育児、教育を図るために平成9年12月1日に人口密集地である泉ヶ丘地区に図書館、事務所、体育館等複合型の施設を開設した。合併後は引続き運営し、市民課や関係各課の業務も拡充して住民サービスの向上を図っている。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・建築後数年が経過し、修繕費等が年々増加している。また窓口業務の拡大に伴う利用者も増加している。
・20年度のふり返りを踏まえて、事務事業名を泉ヶ丘市民センター運営事業から泉ヶ丘市民センター維持管理事業へ変更した。併せて活動指標・対象指標・成果指標も変更した。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・特になし。(窓口延長業務の実施の要望)

事務事業名	泉ヶ丘市民センター維持管理事業	所属部	市民部	所属課	市民課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ・市民の健康、教育のための施設整備は必要である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ・市民の健康、教育を維持向上させることは、市の政策であり、その施設を安全、安心して利用できるように維持管理することは必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ・施設を安全、安心して利用できるように維持管理することは必要である。 ・対象を施設利用者数に変更する。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ ・施設を管理することは、必ず行なわなければならない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ・安全に利用できるようにするには必要な事業であり、廃止することは市民サービス低下に繋がる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ ・事業を廃止することにより、統廃合は可能だが、周辺住民、利用者の利便性、健康、教育を維持することが困難となる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・現状において、職員で一部施設内清掃を行うなど、清掃費を減らす努力等を行っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・施設管理については、職員以外が行なうことは不適であると考えられる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ ・施設利用者には応分の負担を求めることは、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、対象を施設利用者数に変更。 ②有効性については、統合については、庁舎の在り方検討会で協議 ③効率性については、・・・ ④公平性については、・・・

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・目的の再設定については、対象を施設利用者数に変更する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td>△</td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持 低下	△		△
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○	△														
	維持 低下	△		△														

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	6	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	10	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)